



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

コード番号 7173 URL <https://www.tokyo-kiraboshifg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 壽信

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画部長 (氏名) 吉野 岳志 TEL 03-6447-5799

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	35,423	13.5	8,678	86.3	5,836	100.5
2023年3月期第1四半期	31,189	38.5	4,656	5.4	2,910	2.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 10,423百万円(-%) 2023年3月期第1四半期 △5,859百万円(-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	193.82	112.95
2023年3月期第1四半期	96.33	50.56

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,586,574	335,358	5.0
2023年3月期	6,742,149	326,972	4.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 335,303百万円 2023年3月期 326,904百万円

(注) 自己資本とは、期末純資産の部合計から期末新株予約権及び期末非支配株主持分を控除した金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示（2006年金融庁告示第20号）に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	52.50	-	62.50	115.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	65.00	-	65.00	130.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	13,800	4.4	8,900	3.1	290.69
通期	28,100	△8.6	22,000	4.0	720.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(6) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	30,650,115株	2023年3月期	30,650,115株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	539,564株	2023年3月期	537,634株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	30,112,073株	2023年3月期1Q	30,214,799株

(注) 当社は、株式交付信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第1回第一種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 —	円 126.00	円 —	円 126.00	円 252.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		133.00	—	133.00	266.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2023年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率 (※)

配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%

③ 日本円TIBOR

2022年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.16000%

④ 発行済株式数

750,000株

(2) 2024年3月期(予想)

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率 (※)

配当年率 = 日本円TIBOR + 1.1%

③ 日本円TIBOR

2023年3月31日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.23364%

④ 発行済株式数

750,000株

※ 配当年率は、%未満小数第3位まで算出し、その小数第3位を四捨五入

(第二種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 —	円 16.000	円 —	円 16.000	円 32.000
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		23.364	—	23.364	46.728

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たりの払込金額 20,000円

3. 1株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

(1) 2023年3月期

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率

配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%

③ 日本円TIBOR

2022年4月1日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.16000%

④ 発行済株式数

2,000,000株

(2) 2024年3月期(予想)

① 算式

配当金 = 1株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率

配当年率 = 日本円TIBOR + 0.0%

③ 日本円TIBOR

2023年3月31日における日本円TIBOR (12ヶ月物) = 0.23364%

④ 発行済株式数

2,000,000株

**【添付資料の目次】**

**1. 当四半期決算に関する定性的情報**

(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2

**2. 四半期連結財務諸表及び主な注記**

(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3～4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5～6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	7
(6) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	7
(7) 会計方針の変更 .....	7
(8) 追加情報 .....	7

**3. 2024年3月期第1四半期決算説明資料**

(1) 損益の状況 .....	8～10
(2) ROE .....	11
(3) OHR .....	12
(4) 自己資本比率（国内基準） .....	13～14
(5) リスク管理債権及び金融再生法開示債権 .....	15
(6) 貸出金・預金残高等の状況 .....	16～18
(7) 時価のある有価証券の評価損益 .....	19

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結業績の大半を占めるきらぼし銀行の経常利益が121億円（前年同期比△7億円）、四半期純利益は94億円（同比△14億円）となりましたが、内部取引の消去など連結決算上の調整を行ったことにより、経常利益が86億円（同比+40億円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は58億円（同比+29億円）となりました。

なお、きらぼし銀行の経営成績における主な増減要因（前年同期比）は、以下のとおりです。

- ① 貸出金利息<sup>※1</sup> : メイン化取引の推進や事業性ファイナンスへの取組み等により貸出金残高が増加、利回りも上昇し、前年同期比+24億円。
- ② 有価証券利息配当金 : 持分法適用関連会社からの配当金の受取が29億円減少するも、有価証券の利回りが上昇したこと等により同比△16億円。  
(関連会社による配当は内部取引により連結業績では消去されます。)
- ③ 非金利収益<sup>※2</sup> : 事業性ファイナンス等による法人役務収益が増加した一方、前期計上したアセットスワップ解消等の利益がなくなったこと等により同比△20億円。
- ④ 経費 : 人件費及び物件費の増加等により同比+5億円。
- ⑤ 与信関係費用 : 一部大口取引先の信用悪化等により、同比+6億円。
- ⑥ 国債等債券損益 : 前期計上した外国債券の売却損がなくなったこと等により同比+34億円。
- ⑦ 株式等関係損益 : 純投資株式の売却益の増加等により同比+1億円。

※1. 貸出金利息には実質無利子・無担保融資等自治体から事後的に補給される利子補給金が含まれております。

※2. 非金利収益は、コア業務粗利益を構成する計数のうち、資金利益を除いたものです。

(非金利収益=信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く))

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比1,555億円減少し6兆5,865億円となり、純資産は其他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末比83億円増加し3,353億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金は前連結会計年度末比1,829億円増加し5兆8,083億円、貸出金は前連結会計年度末比569億円増加し4兆7,631億円、有価証券は前連結会計年度末比493億円増加し9,063億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月8日に公表いたしました2024年3月期の業績予想につきましては変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	936,273	676,506
コールローン及び買入手形	9,640	3,276
買入金銭債権	58,527	58,278
商品有価証券	861	870
金銭の信託	2,867	3,714
有価証券	856,976	906,302
貸出金	4,706,163	4,763,130
外国為替	4,519	5,702
リース債権及びリース投資資産	24,853	25,250
その他資産	73,708	76,450
有形固定資産	55,971	57,462
無形固定資産	12,922	13,375
退職給付に係る資産	18,400	18,727
繰延税金資産	7,049	5,099
支払承諾見返	5,971	6,003
貸倒引当金	△32,557	△33,577
資産の部合計	6,742,149	6,586,574
<b>負債の部</b>		
預金	5,625,386	5,808,323
譲渡性預金	9,500	9,500
コールマネー及び売渡手形	448,139	143,652
債券貸借取引受入担保金	184,751	199,166
借入金	79,786	16,839
外国為替	258	531
社債	7,008	6,622
その他負債	50,696	58,272
賞与引当金	1,670	488
役員賞与引当金	155	—
株式報酬引当金	374	374
退職給付に係る負債	75	78
役員退職慰労引当金	67	65
ポイント引当金	74	88
睡眠預金払戻損失引当金	259	216
偶発損失引当金	883	875
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	116	114
支払承諾	5,971	6,003
負債の部合計	6,415,177	6,251,215

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
資本金	27,500	27,500
資本剰余金	150,968	150,968
利益剰余金	151,399	155,206
自己株式	△1,198	△1,202
株主資本合計	328,669	332,473
その他有価証券評価差額金	△5,121	△429
繰延ヘッジ損益	—	△95
土地再評価差額金	△242	△242
為替換算調整勘定	25	30
退職給付に係る調整累計額	3,573	3,567
その他の包括利益累計額合計	△1,765	2,830
新株予約権	13	9
非支配株主持分	55	45
純資産の部合計	326,972	335,358
負債及び純資産の部合計	6,742,149	6,586,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
経常収益	31,189	35,423
資金運用収益	16,966	20,636
(うち貸出金利息)	13,758	16,289
(うち有価証券利息配当金)	2,691	3,911
信託報酬	61	96
役務取引等収益	3,969	5,451
その他業務収益	5,709	1,675
その他経常収益	4,482	7,563
経常費用	26,533	26,745
資金調達費用	465	1,337
(うち預金利息)	234	572
役務取引等費用	663	701
その他業務費用	6,912	1,304
営業経費	14,109	15,321
その他経常費用	4,383	8,080
経常利益	4,656	8,678
特別利益	—	—
特別損失	56	14
固定資産処分損	56	14
税金等調整前四半期純利益	4,599	8,663
法人税等	1,697	2,836
四半期純利益	2,902	5,827
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8	△9
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,910	5,836

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,902	5,827
その他の包括利益	△8,761	4,596
その他有価証券評価差額金	△8,243	4,686
繰延ヘッジ損益	△445	△95
為替換算調整勘定	7	5
退職給付に係る調整額	△70	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	5
四半期包括利益	△5,859	10,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,851	10,432
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△9

**(3) 継続企業の前提に関する注記**

該当事項はありません。

**(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

該当事項はありません。

**(5) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

なお、2023年4月1日付で、エイチ・エス債権回収株式会社の商号をきらぼし債権回収株式会社へ変更しております。

**(6) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用**

(税金費用の処理)

連結財務諸表作成における税金費用は、当社及び連結子会社の当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

**(7) 会計方針の変更**

該当事項はありません。

**(8) 追加情報**

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

当第1四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した内容から重要な変更はありません。

3. 2024年3月期第1四半期決算説明資料

(1) 損益の状況

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ

【連結】

2024年3月期第1四半期の経常収益は、前期比4,233百万円増加の35,423百万円、経常利益は前期比4,021百万円増加の8,678百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期比2,925百万円増加の5,836百万円となりました。

(単位：百万円)

		2023年 6月期	2022年 6月期比	2022年 6月期
経常収益	1	35,423	4,233	31,189
業務粗利益	2	24,517	5,851	18,666
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	3	(24,050)	(1,026)	(23,023)
資金利益	4	19,299	2,798	16,501
信託報酬	5	96	34	61
役務取引等利益	6	4,750	1,444	3,305
その他業務利益	7	371	1,574	△1,202
経費(除く臨時処理分)	8	15,302	1,083	14,218
与信関係費用	9	1,393	751	642
株式等関係損益	10	1,296	77	1,218
持分法による投資損益	11	1	△3	4
その他	12	△440	△68	△371
経常利益	13	8,678	4,021	4,656
特別損益	14	△14	42	△56
税金等調整前四半期純利益	15	8,663	4,063	4,599
法人税等	16	2,836	1,138	1,697
四半期純利益	17	5,827	2,925	2,902
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	18	△9	△0	△8
親会社株主に帰属する四半期純利益	19	5,836	2,925	2,910

② きらぼし銀行

【単体】

2024年3月期第1四半期の単体業績は、メイン化取引の推進や事業性ファイナンスへの取組み等により貸出金利息が増加するも、関連会社からの受取配当金の減少及び経費、与信費用が増加したこと等により、経常利益が前期比794百万円減少の12,163百万円、四半期純利益は前期比1,456百万円減少の9,484百万円となりました。

※前年度東京きらぼしFGに計上した持分法投資利益3,514百万円（2022年6月期 6,470百万円）相当額が、関連会社からの配当金として資金利益に含まれております。

(単位：百万円)

		2023年 6月期	2022年 6月期比	2022年 6月期
経常収益	1	32,232	△3,010	35,242
業務粗利益	2	26,709	1,203	25,505
(除く国債等債券損益(5勘定戻))【コア業務粗利益】	3	(26,214)	(△2,275)	(28,490)
資金利益	4	22,683	△258	22,941
信託報酬	5	96	34	61
役員取引等利益	6	3,626	1,240	2,385
その他業務利益	7	303	186	116
経費(除く臨時処理分)	8	13,205	584	12,620
人件費	9	5,879	239	5,639
物件費	10	6,068	340	5,727
税金	11	1,257	5	1,252
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)【実質業務純益】	12	13,504	618	12,885
(除く国債等債券損益(5勘定戻))【コア業務純益】	13	(13,009)	(△2,860)	(15,869)
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	14	(12,123)	(△3,821)	(15,944)
コア業務純益(除く特殊要因) <sup>(注)1</sup>	15	(9,494)	(2,932)	(6,561)
一般貸倒引当金繰入額①	16	△294	△181	△113
業務純益	17	13,798	800	12,998
(うち国債等債券損益(5勘定戻))	18	(494)	(3,479)	(△2,984)
臨時損益	19	△1,635	△1,594	△40
不良債権処理額②	20	1,570	860	709
貸出金償却	21	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	22	1,385	745	640
債権売却損	23	—	—	—
偶発損失引当金繰入額	24	△8	△27	19
信用保証協会責任共有制度負担金	25	182	177	4
その他不良債権処理額	26	10	△35	45
貸倒引当金戻入益③	27	—	—	—
償却債権取立益	28	225	201	23
株式等関係損益	29	1,291	100	1,190
その他臨時損益	30	△1,581	△1,036	△544
経常利益	31	12,163	△794	12,958
経常利益(除く特殊要因) <sup>(注)2</sup>	32	8,648	2,160	6,487
特別損益	33	△14	42	△56
税引前四半期純利益	34	12,149	△752	12,901
法人税等	35	2,664	703	1,960
四半期純利益	36	9,484	△1,456	10,940
四半期純利益(除く特殊要因) <sup>(注)2</sup>	37	5,969	1,499	4,470
与信関係費用①+②-③	38	1,275	678	596

(注) 1. 持分法適用関連会社の子会社における不動産売却を原資とした当該関連会社からの配当金(当期 3,514百万円、前年同期 6,470百万円)及び、アセットスワップの解消に伴うデリバティブ利益等(当期該当なし、前年同期 2,837百万円)を除いた場合の金額を表示しています。

2. 持分法適用関連会社の子会社における不動産売却を原資とした当該関連会社からの配当金(当期 3,514百万円、前年同期 6,470百万円)を除いた場合の金額を表示しています。

【連結】

(単位：百万円)

		2023年 6月期	2022年 6月期比	2022年 6月期
経常収益	39	30,652	1,742	28,910
経常利益	40	8,923	2,262	6,660
親会社株主に帰属する四半期純利益	41	6,172	1,592	4,580

（2）ROE

東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

（単位：％）

	2023年	2022年	2022年 6月期
	6月期	6月期比	
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	7.07	3.37	3.69

（注）分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本+期末自己資本）÷2 で算出しております。

きらぼし銀行【単体】

（単位：％）

	2023年	2022年	2022年 6月期
	6月期	6月期比	
業務純益ベース（一般貸倒引当金繰入前）	16.72	△0.21	16.94
業務純益ベース	17.09	0.00	17.09
コア業務純益ベース	16.11	△4.75	20.86
四半期純利益ベース	11.74	△2.63	14.38

（注）分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本+期末自己資本）÷2 で算出しております。

きらぼし銀行【単体】（関連会社配当金を控除した場合）

（単位：％）

	2023年	2022年	2022年 6月期
	6月期	6月期比	
業務純益ベース（一般貸倒引当金繰入前）	12.56	4.04	8.52
業務純益ベース	12.93	4.26	8.67
コア業務純益ベース	11.94	△0.54	12.49
四半期純利益ベース	7.51	1.54	5.96

（注）1. 分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本+期末自己資本）÷2 で算出しております。

2. 関連会社配当金は、2023年6月期は35億円、2022年6月期は64億円を控除しております。

きらぼし銀行【連結】

（単位：％）

	2023年	2022年	2022年 6月期
	6月期	6月期比	
業務純益ベース（一般貸倒引当金繰入前）	11.76	3.38	8.37
業務純益ベース	12.12	3.60	8.51
コア業務純益ベース	11.16	△0.98	12.15
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	7.40	1.60	5.80

（注）分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本+期末自己資本）÷2 で算出しております。

(3) OHR

きらぼし銀行【単体】

(単位：%)

	2023年 6月期	2022年	
		6月期比	6月期
コア業務粗利益ベース	50.37	6.07	44.29
業務粗利益ベース	49.44	△0.03	49.48

(注) 
$$\text{OHR} = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$$

きらぼし銀行【単体】（関連会社配当金を控除した場合）

(単位：%)

	2023年 6月期	2022年	
		6月期比	6月期
コア業務粗利益ベース	58.17	0.86	57.31
業務粗利益ベース	56.93	△9.36	66.29

(注) 1. 
$$\text{OHR} = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$$

2. 関連会社配当金は、2023年6月期は35億円、2022年6月期は64億円を控除しております。

（4）自己資本比率（国内基準）

①東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

（単位：百万円、％）

	2023年 6月末	2023年 3月末比	2023年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	8.30	0.15	8.15
(2) 自己資本	321,268	4,883	316,384
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	332,473	5,832	326,640
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	8,381	△427	8,809
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	—
(3) リスク・アセット等	3,867,072	△12,627	3,879,700
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4％	154,682	△505	155,188

②きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円、％）

	2023年 6月末	2023年 3月末比	2023年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	8.48	0.24	8.23
(2) 自己資本	325,182	8,661	316,521
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	331,149	9,484	321,665
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	8,146	△295	8,441
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	—
(3) リスク・アセット等	3,834,487	△7,460	3,841,948
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4％	153,379	△298	153,677

③きらぼし銀行【連結】

（単位：百万円、％）

	2023年 6月末	2023年 3月末比	2023年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	8.57	0.16	8.41
(2) 自己資本	328,573	5,386	323,186
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	336,052	6,172	329,879
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	8,250	△303	8,553
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	—
(3) リスク・アセット等	3,829,791	△12,530	3,842,321
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4％	153,191	△501	153,692

④UI銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2023年 6月末	2023年	2023年 3月末
		3月末比	
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	5.29	△1.59	6.88
(2) 自己資本	3,799	△656	4,456
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	6,013	△469	6,483
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	120	12	108
(ハ) うち適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—	—
(3) リスク・アセット等	71,723	7,032	64,691
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4%	2,868	281	2,587

(注) 「自己資本比率」は、2006年金融庁告示第19号及び第20号に基づき算出しております。  
また、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては基礎的手法を採用しております。

(5) リスク管理債権及び金融再生法開示債権

きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2023年6月末			2023年3月末	2022年6月末
	2023年6月末	2023年3月末比	2022年6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	23,521	651	3,438	22,869	20,083
危険債権	90,015	2,618	△6,352	87,396	96,367
要管理債権	7,792	188	15	7,603	7,776
三月以上延滞債権額	328	305	69	23	258
貸出条件緩和債権額	7,464	△116	△54	7,580	7,518
小計 (A)	121,328	3,458	△2,898	117,870	124,227
正常債権	4,714,855	53,501	357,729	4,661,353	4,357,125
総与信残高 (B)	4,836,184	56,960	354,830	4,779,223	4,481,353
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	2.50	0.04	△0.26	2.46	2.77

部分直接償却を実施した場合

(単位：百万円、%)

	2023年6月末			2023年3月末	2022年6月末
	2023年6月末	2023年3月末比	2022年6月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,362	△214	3,877	9,577	5,484
危険債権	90,015	2,618	△6,352	87,396	96,367
要管理債権	7,792	188	15	7,603	7,776
三月以上延滞債権額	328	305	69	23	258
貸出条件緩和債権額	7,464	△116	△54	7,580	7,518
小計 (A)	107,170	2,592	△2,459	104,578	109,629
正常債権	4,714,855	53,501	357,729	4,661,353	4,357,125
総与信残高 (B)	4,822,025	56,093	355,270	4,765,931	4,466,755
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	2.22	0.02	△0.23	2.19	2.45

(6) 貸出金・預金残高等の状況

① 貸出金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2023年 6月末			2023年 3月末	2022年 6月末
		2023年 3月末比	2022年 6月末比		
貸出金(末残) (除く特別国際金融取引勘定) (A)	4,793,894 (4,793,894)	58,496 (58,496)	367,224 (367,224)	4,735,398 (4,735,398)	4,426,670 (4,426,670)
中小企業等貸出金 (B)	4,063,396	39,056	347,581	4,024,339	3,715,814
うち消費者ローン	699,194	△1,921	2,425	701,115	696,768
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	84.76	△0.22	0.82	84.98	83.94

(2) U I 銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2023年 6月末			2023年 3月末	2022年 6月末
		2023年 3月末比	2022年 6月末比		
貸出金(末残) (除く特別国際金融取引勘定) (A)	31 (31)	29 (29)		1 (1)	
中小企業等貸出金 (B)	31	29		1	
うち消費者ローン	31	29		1	
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	100.00	—		100.00	

(注) U I 銀行では、2023年3月よりカードローンの取扱いを開始しております。なお、きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(3) きらぼし銀行及びU I 銀行の合算

(単位：百万円、%)

	2023年 6月末			2023年 3月末	2022年 6月末
		2023年 3月末比	2022年 6月末比		
貸出金(末残) (除く特別国際金融取引勘定) (A)	4,793,926 (4,793,926)	58,525 (58,525)		4,735,400 (4,735,400)	
中小企業等貸出金 (B)	4,063,427	39,086		4,024,341	
うち消費者ローン	699,225	△1,891		701,117	
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	84.76	△0.22		84.98	

(注) U I 銀行では、2023年3月よりカードローンの取扱いを開始しております。なお、きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

② 預金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2023年 6月末			2023年 3月末	2022年 6月末
		2023年 3月末比	2022年 6月末比		
預金（未残）	5,480,305	132,058	385,419	5,348,246	5,094,885
個人預金	3,044,937	23,884	△14,805	3,021,053	3,059,743
法人預金	2,067,910	71,296	172,390	1,996,614	1,895,519
その他預金	367,457	36,877	227,834	330,579	139,622

(2) UI銀行【単体】

(単位：百万円)

	2023年 6月末			2023年 3月末	2022年 6月末
		2023年 3月末比	2022年 6月末比		
預金（未残）	391,923	56,063	235,611	335,860	156,311
個人預金	391,923	56,063	235,611	335,860	156,311

(3) きらぼし銀行及びUI銀行の合算

(単位：百万円)

	2023年 6月末			2023年 3月末	2022年 6月末
		2023年 3月末比	2022年 6月末比		
預金（未残）	5,872,229	188,122	621,031	5,684,107	5,251,197
個人預金	3,436,861	79,948	220,806	3,356,913	3,216,054
法人預金	2,067,910	71,296	172,390	1,996,614	1,895,519
その他預金	367,457	36,877	227,834	330,579	139,622

③ 預かり資産残高

（1）きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円）

	2023年 6月末	2023年 3月末比		2023年 3月末	2022年 6月末
		2023年 3月末比	2022年 6月末比		
預かり資産	408,223	7,699	6,608	400,523	401,615
投資信託	143,275	6,494	5,189	136,780	138,085
生命保険	240,112	2,651	7,673	237,460	232,439
公共債	24,836	△1,446	△6,253	26,282	31,089

（2）きらぼしライフデザイン証券

（単位：百万円）

	2023年 6月末	2023年 3月末比		2023年 3月末	2022年 6月末
		2023年 3月末比	2022年 6月末比		
預かり資産	226,349	23,521	49,549	202,827	176,799
投資信託	207,756	19,191	42,905	188,564	164,850
公共債	126	△11	△26	137	152
その他	18,466	4,341	6,670	14,125	11,796

（3）きらぼし銀行及びきらぼしライフデザイン証券の合算

（単位：百万円）

	2023年 6月末	2023年 3月末比		2023年 3月末	2022年 6月末
		2023年 3月末比	2022年 6月末比		
預かり資産	634,572	31,221	56,158	603,351	578,414
投資信託	351,031	25,685	48,094	325,345	302,936
生命保険	240,112	2,651	7,673	237,460	232,439
公共債	24,962	△1,457	△6,279	26,419	31,241
その他	18,466	4,341	6,670	14,125	11,796

④ 信託業務

きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円）

		2023年 6月期	2023年 3月期比		2023年 3月期	2022年 6月期
			2023年 3月期比	2022年 6月期比		
公共工事代金債権信託	取扱金額	11,956		5,894	34,345	6,062
	期末残高	27,461	6,528	7,927	20,932	19,533
不動産管理信託	取扱金額	1,909		△8,859	36,936	10,769
	期末残高	91,194	1,477	26,817	89,716	64,376
その他	取扱金額	6		1	23	5
	期末残高	2,571	△248	△278	2,820	2,850
合計	取扱金額	13,873		△2,963	71,305	16,837
	期末残高	121,227	7,757	34,466	113,469	86,760

（注）取扱金額は算定期間が異なるため、2023年3月期比は記載しておりません。

(7) 時価のある有価証券の評価損益

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円)

	2023年6月末				2022年6月末		
	評価損益	2022年 6月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△1,630	△504	1	1,631	△1,126	—	1,126
その他有価証券	△3,853	4,224	22,535	26,389	△8,078	18,010	26,088
株式	13,501	4,819	14,048	546	8,681	9,917	1,236
債券	△6,797	△385	982	7,779	△6,411	1,072	7,484
その他	△10,557	△209	7,505	18,063	△10,348	7,020	17,368

② きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2023年6月末				2022年6月末		
	評価損益	2022年 6月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△1,622	△504	—	1,622	△1,117	—	1,117
その他有価証券	△2,590	3,555	23,474	26,065	△6,146	19,587	25,734
株式	12,972	4,807	13,660	687	8,165	9,522	1,357
債券	△6,399	△764	1,271	7,671	△5,635	1,749	7,385
その他	△9,163	△487	8,542	17,705	△8,676	8,315	16,991

東京きらぼしフィナンシャルグループ  
2024年3月期 第1四半期  
決算概要

# 2023年6月期 決算サマリー

## 東京きらぼしFG(連結) 業績 (億円)

※前年同期比の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

		24/3期 第1四半期業績			24/3 (計画)	
		① 22/6 (実績)	② 23/6 (実績)	前年同期比 (②-①)	③ 24/3 (計画)	進捗率 (② / ③)
1	経常利益	46	86	+40	281	30.8%
2	親会社株主に帰属する 四半期純利益	29	58	+29	220	26.5%

## きらぼし銀行(単体) 業績 (億円)

		24/3期 第1四半期業績			24/3 (計画)		
		① 22/6 (実績)	② 23/6 (実績)	前年同期比 (②-①)	③ 24/3 (計画)	進捗率 (② / ③)	
1	コア業務粗利益	284	262	▲22	885	29.6%	
2	資金利益	229	226	▲2	756	—	
3	貸出金利息	137	161	+24	643	—	
4	有価証券利息	92	75	▲16	162	—	
5	その他資金利益	▲0	▲10	▲10	▲49	—	
6	非金利収益	55	35	▲20	128	—	
7	経費	▲126	▲132	▲5	▲530	—	
8	コア業務純益	158	130	▲28	354	36.7%	
1	9	コア業務純益(除く特殊要因)	65	94	+29	319	29.7%
10	与信関係費用	▲5	▲12	▲6	▲50	—	
11	国債等債券損益	▲29	4	+34	8	—	
12	株式等関係損益	11	12	+1	8	—	
13	その他臨時損益	▲5	▲13	▲8	▲22	—	
14	経常利益	129	121	▲7	297	40.9%	
2	15	経常利益(除く特殊要因)	64	86	+21	262	33.0%
16	特別損益	▲0	▲0	+0	▲1	—	
17	法人税等	▲19	▲26	▲7	▲50	—	
18	四半期純利益	109	94	▲14	245	38.7%	
2	19	四半期純利益(除く特殊要因)	44	59	+14	210	28.4%

## 東京きらぼしFG

親会社株主に帰属する 当期純利益
58億円 (前年同期比+100.5%)

## きらぼし銀行

経常利益
121億円 (前年同期比▲6.1%)
四半期純利益
94億円 (前年同期比▲13.3%)

## 特殊要因を除いた場合

親会社株主に帰属する 当期純利益
58億円 (前年同期比+100.5%)
経常利益
86億円 (前年同期比+33.3%)
四半期純利益
59億円 (前年同期比+33.5%)

1 ...以下を除いた場合の金額を表示

(億円)	22/6	23/6
① 関連会社配当金	64	35
② デリバティブ利益等	28	—
計(①+②)	93	35

①: 持分法適用関連会社の子会社における不動産売却を原資とした当該関連会社からの配当金  
②: アセットスワップの解消に伴うデリバティブ利益等

2 ...以下を除いた場合の金額を表示

(億円)	22/6	23/6
① 関連会社配当金	64	35

①: 持分法適用関連会社の子会社における不動産売却を原資とした当該関連会社からの配当金

# 当期純利益の増減要因(きらぼし銀行)

※本頁の各計数の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

主要項目	前年同期比	ポイント	《参考》特殊要因除く 前年同期比
① 貸出金利息	+24億円	メイン化取引の推進や事業性ファイナンスの取組み等により、引き続き貸出金増加、利回り上昇し、前年同期比+24億円	+24億円
② 有価証券利息配当金	▲16億円	特殊要因(※1)の計上が同比▲29億円となった一方、有価証券利回りの上昇等により合計では同比▲16億円	+12億円
③ その他資金利益	▲10億円	外貨調達コストの増加やUI銀行への借入金利息の支払い増加等により同比▲10億円	▲10億円
④ 非金利収益	▲20億円	事業性ファイナンスのフィー収入等により法人役務収益が同比+12億円、一方デリバティブ利益等(※2)がなくなったこと等により全体で同比▲20億円	+8億円
⑤ 経費	▲5億円	ベースアップ等による人件費の増加などにより同比▲5億円	▲5億円
⑥ 与信関係費用	▲6億円	一部大口取引先のランクダウン等により同比▲6億円	▲6億円
⑦ 債券・株式等関係損益	+35億円	前期計上した外国債券の売却損がなくなったこと等により同比+35億円	+7億円
⑧ その他臨時損益 特別損益・法人税等	▲14億円	——	▲14億円
計	▲14億円	※1:持分法適用関連会社の子会社における不動産売却を原資とした当該関連会社からの配当金 (22/6期:64億円 → 23/6期:35億円)	※2:前年同期にアセットスワップの解消に伴うデリバティブ利益等を計上(28億円)



連単差 (億円)

きらぼし銀行【単体】純利益	94
グループ連結利益【うち創業赤字等の影響:▲6】	▲1
連結グループ会社間の内部取引消去 (上記※1の配当金35億円等) 等	▲35
東京きらぼしFG【連結】純利益	58

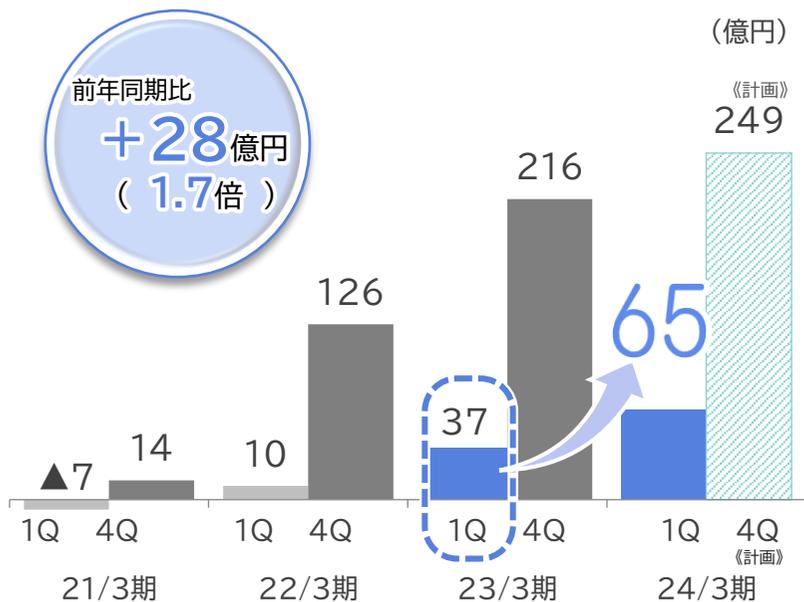
# 顧客向けサービス業務利益(きらぼし銀行)

## 顧客向けサービス業務利益

メイン化取引の推進、事業性ファイナンスへの取組み

- 貸出金残高(未残) 前年同期比 +3,672億円
- 預貸金利回り差 前年同期比 +0.09%pt
- 役務取引等利益 前年同期比 +12億円

顧客向けサービス業務利益(本業利益)の増加

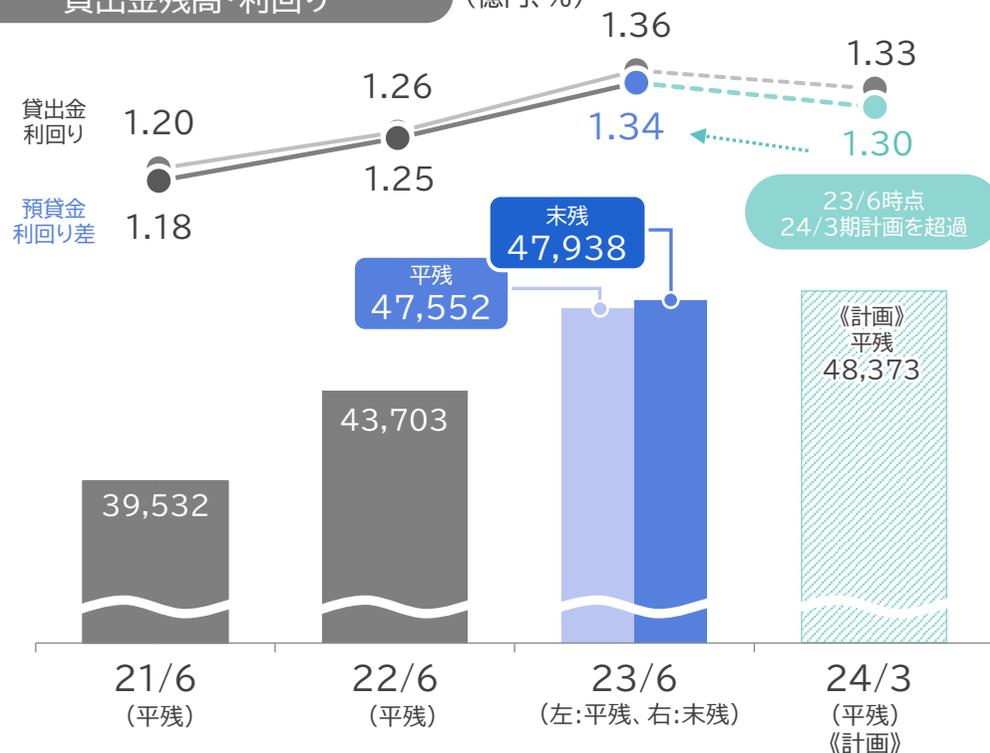


※算出方法: (貸出金残高×預貸金利回り差) + 役務取引等利益 - 営業経費

## 要因分解

		(億円、%)			
		21/6	22/6	23/6	前年同期比
①	貸出金残高(未残)	39,927	44,266	47,938	+3,672
②	預貸金利回り差	1.18	1.25	1.34	+0.09
③	役務取引等利益	21	24	37	+12
④	営業経費 (経費+退職給付費用等臨時処理分)	129	125	131	▲6
顧客向けサービス業務利益 (①×②×91/365+③-④)		10	37	65	+28

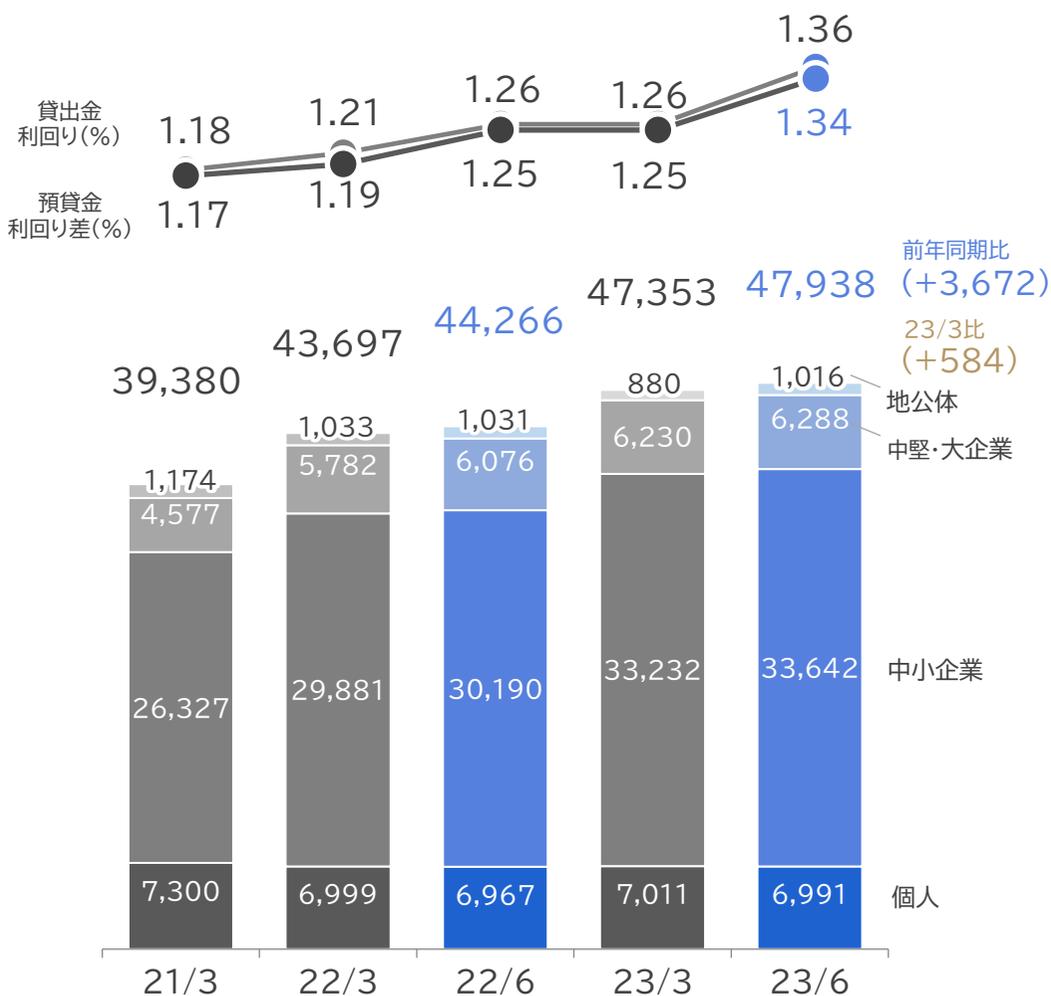
## 貸出金残高・利回り (億円、%)



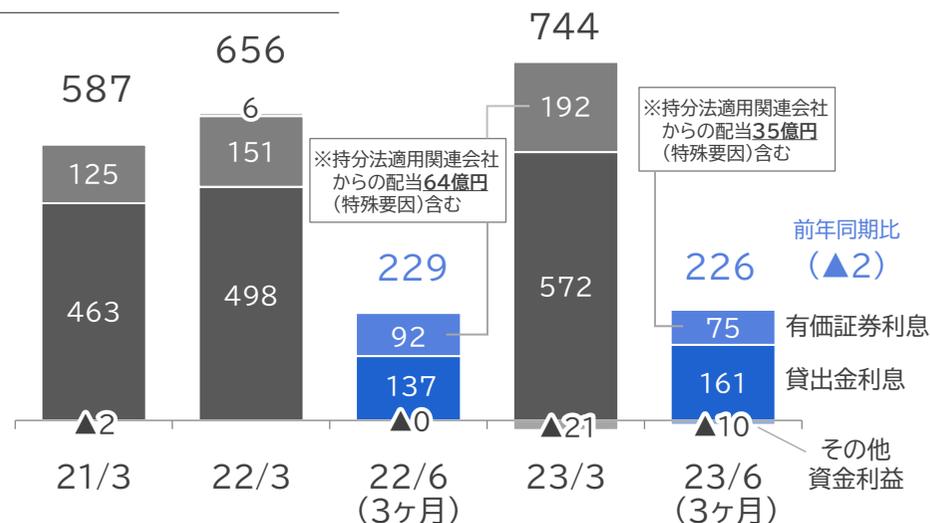
# 貸出金・信託財産(きらぼし銀行)

メイン化取引の推進・事業性ファイナンス等への取組みにより、引き続き貸出金残高増加、利回り上昇  
東京圏の不動産マーケットを背景として不動産管理信託を中心に信託財産残高が堅調に増加

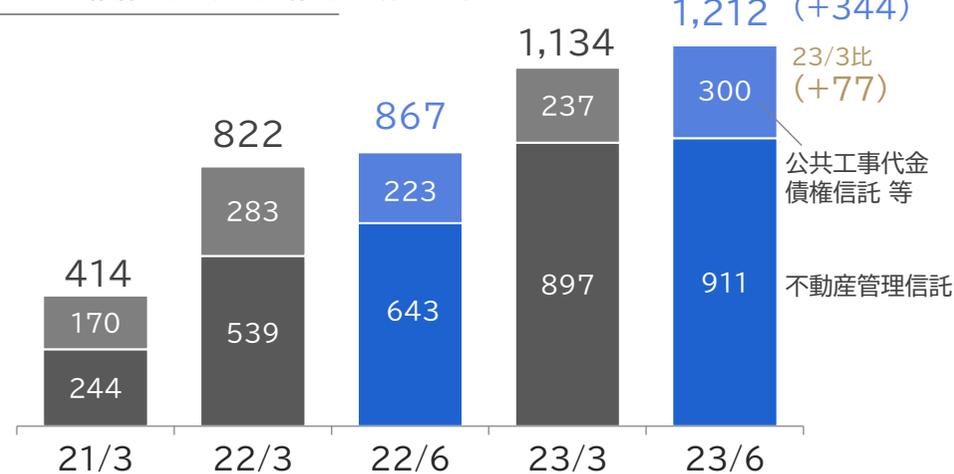
## 1. 顧客別貸出金残高 (億円)



## 2. 資金利益 (億円)



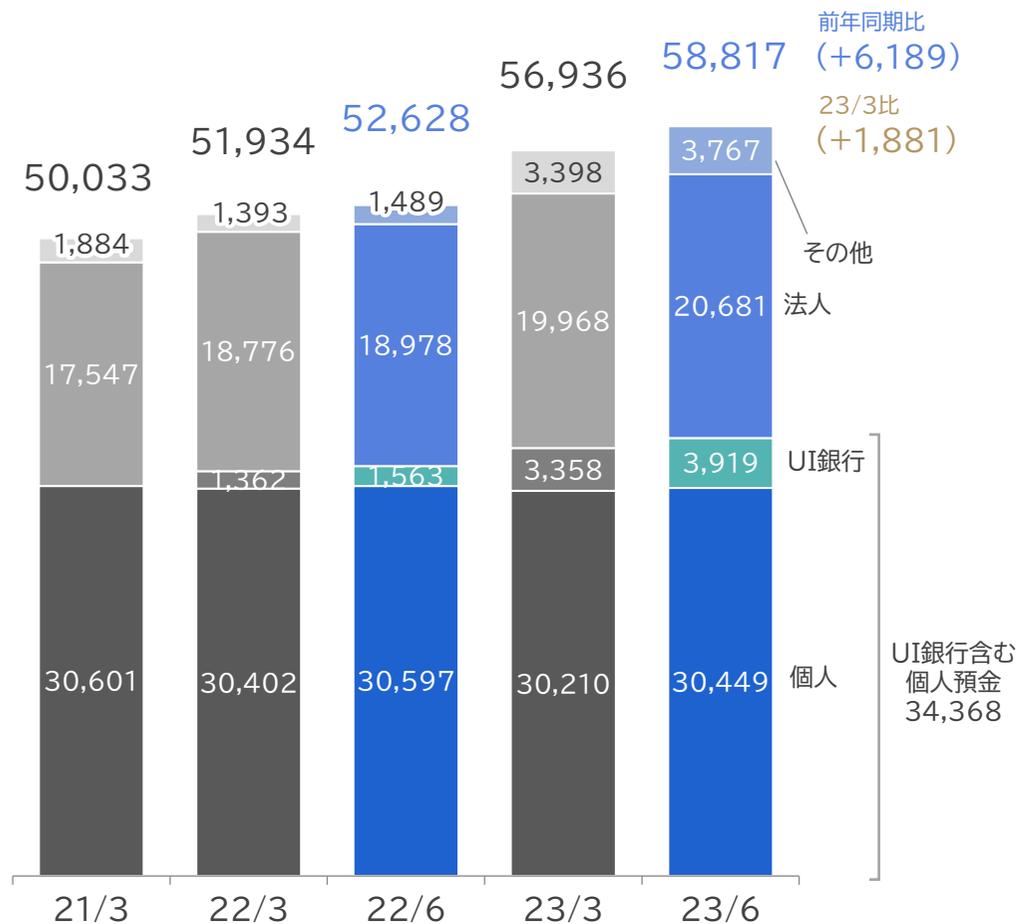
## 3. 信託財産残高 (億円)



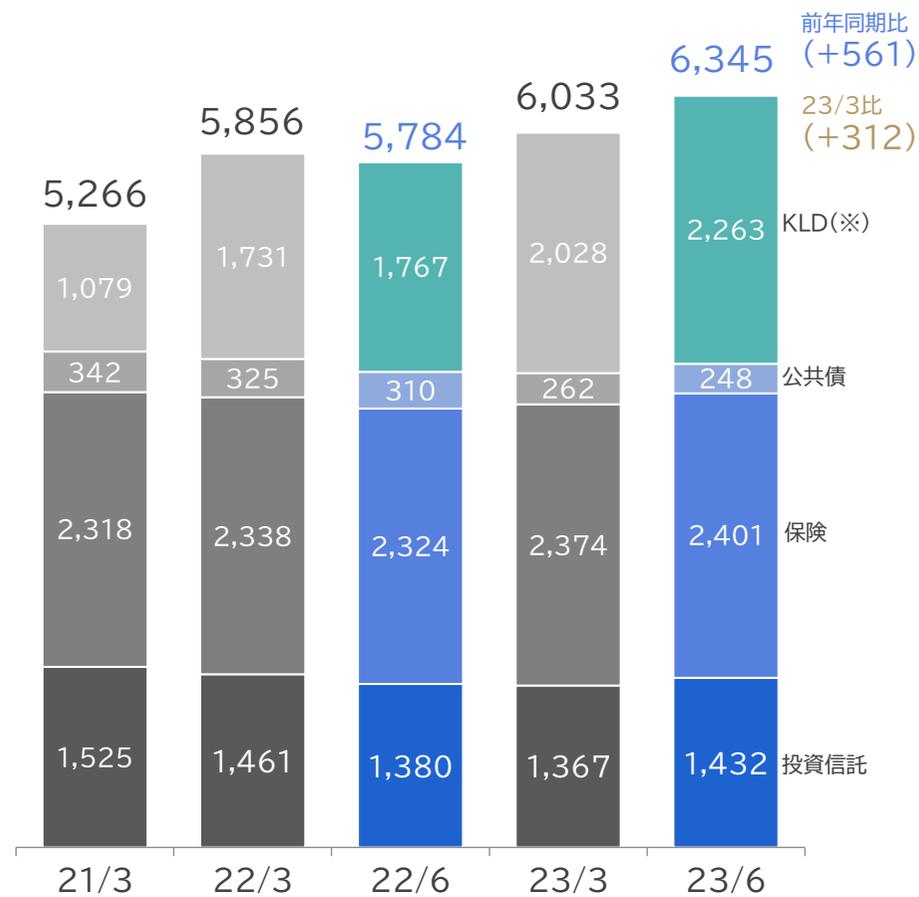
# 預金等・預かり資産残高(きらぼし銀行 + UI銀行 / KLD証券)

UI銀行の預金残高が堅調に積み上がり(23/6末:3,919億円)、グループ全体では前年同期比+6,189億円  
 預かり資産残高は、きらぼしライフデザイン証券の残高を中心に増加傾向

## 1. 顧客別預金等残高 (きらぼし銀行+UI銀行) (億円)



## 2. 項目別預かり資産残高 (きらぼし銀行+KLD) (億円)



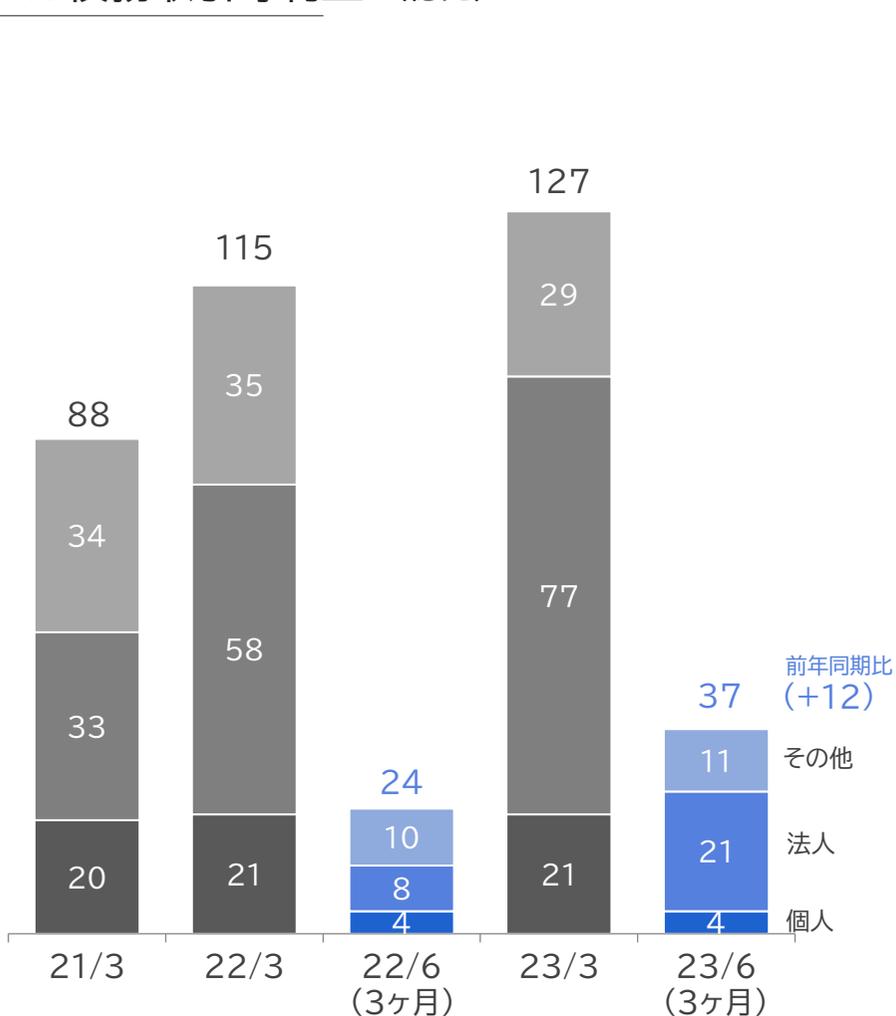
※譲渡性預金を含む  
 ※UI銀行は2022年1月開業

※KLD:きらぼしライフデザイン証券  
 ※きらぼしライフデザイン証券は2020年8月開業

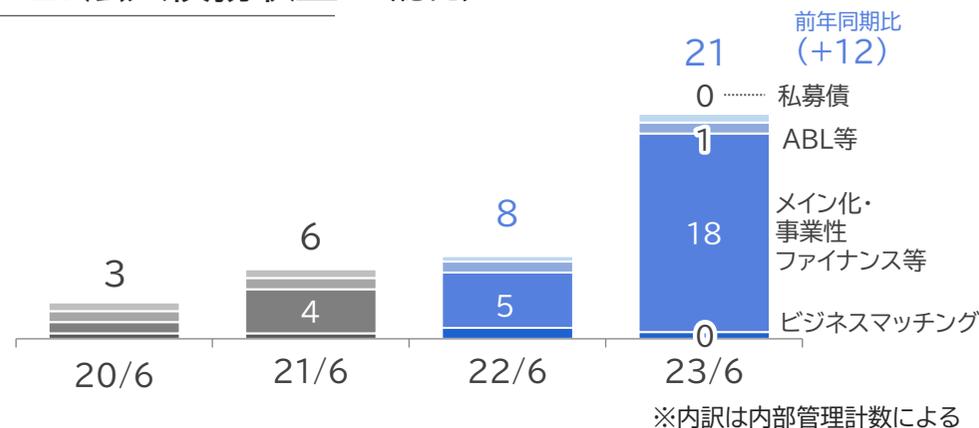
# 役務取引等利益(きらぼし銀行)

メイン化取引の推進・事業性ファイナンス等への取組み等により、法人役務収益を中心に大幅に増加  
個人役務収益は販売手数料に頼らない残高重視の営業体制に転換し、概ね横ばいで推移

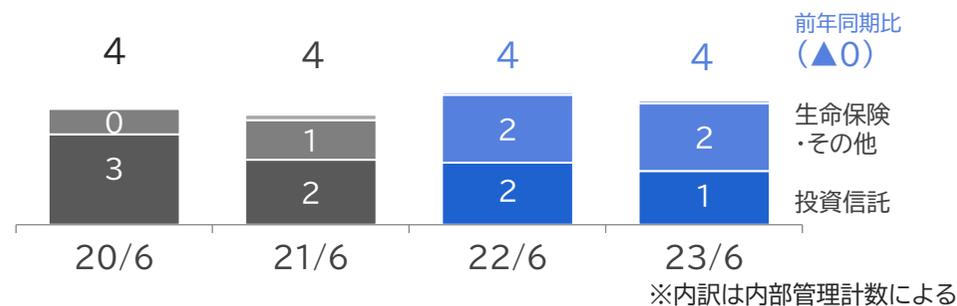
## 1. 役務取引等利益 (億円)



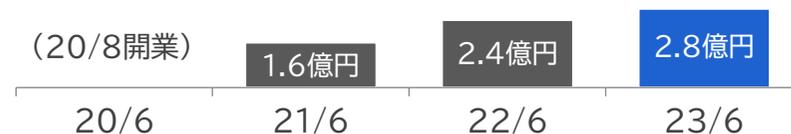
## 2. 法人役務収益 (億円)



## 3. 個人役務収益 (億円)



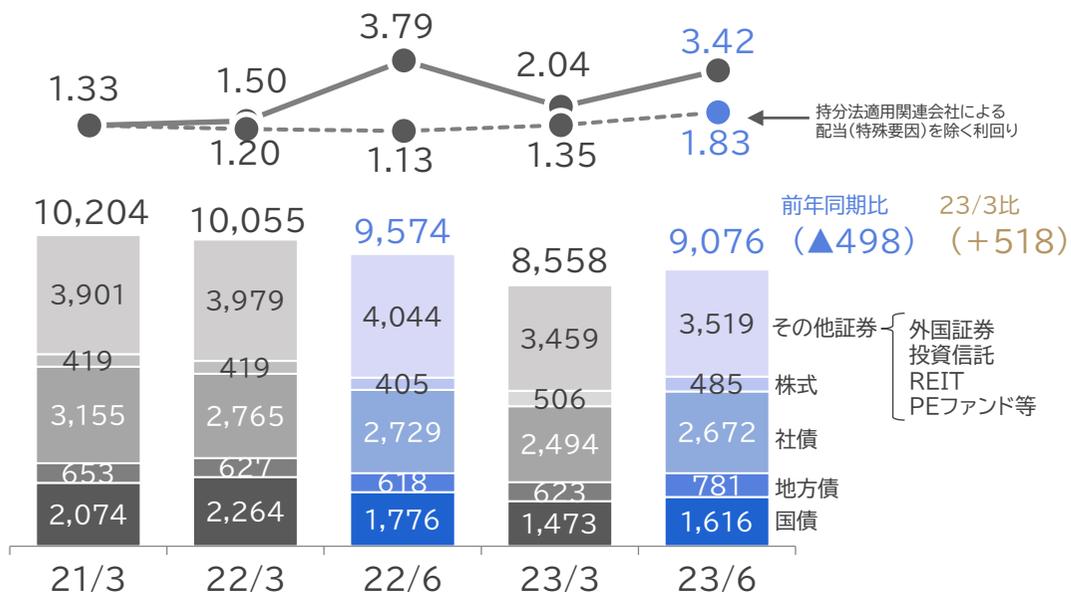
【参考】きらぼしライフデザイン証券収益(※上記個人役務収益には含まれない)



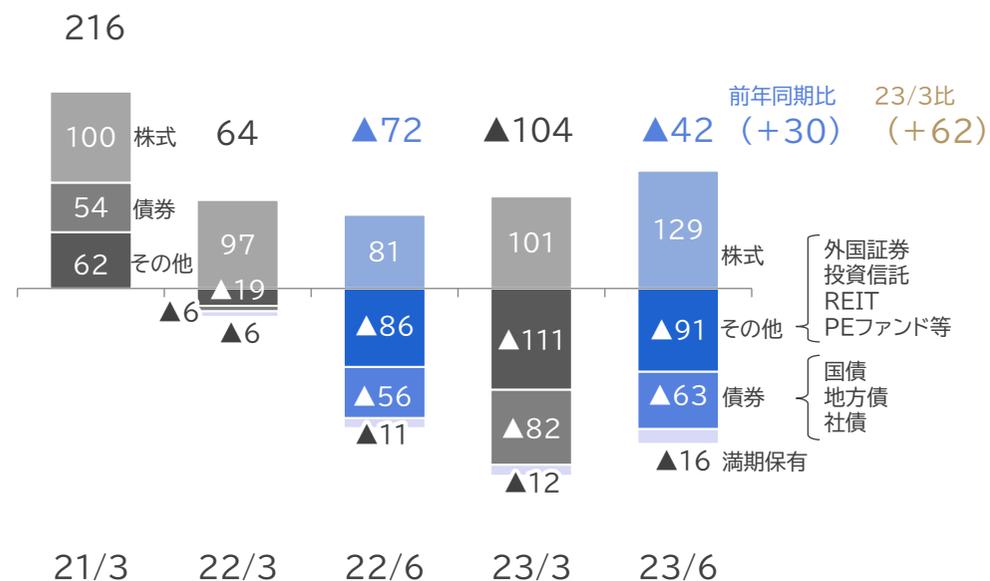
# 有価証券(きらぼし銀行)

円債はスプレッド拡大を背景に地方債・財投機関債を積み増し、外債は変動債への投資を実施

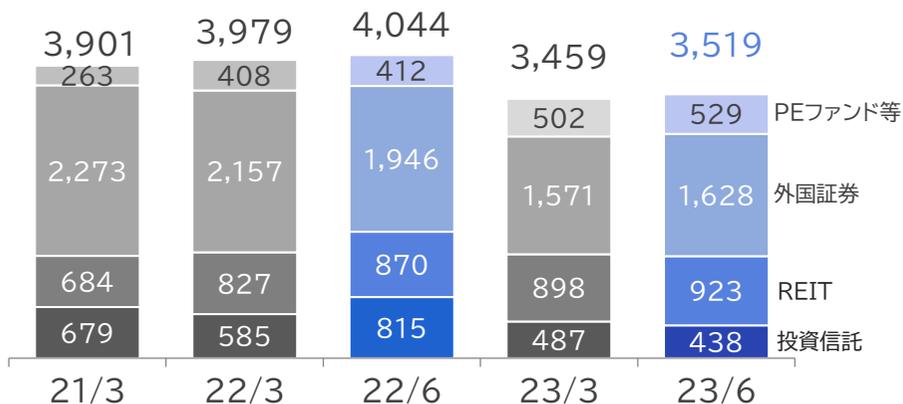
## 1. 有価証券残高・利回り (億円、%)



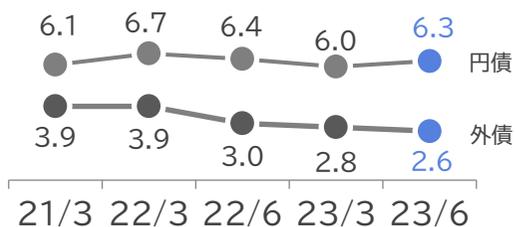
## 2. 有価証券評価損益 (億円)



### その他証券内訳



## 3. デュレーション (年)



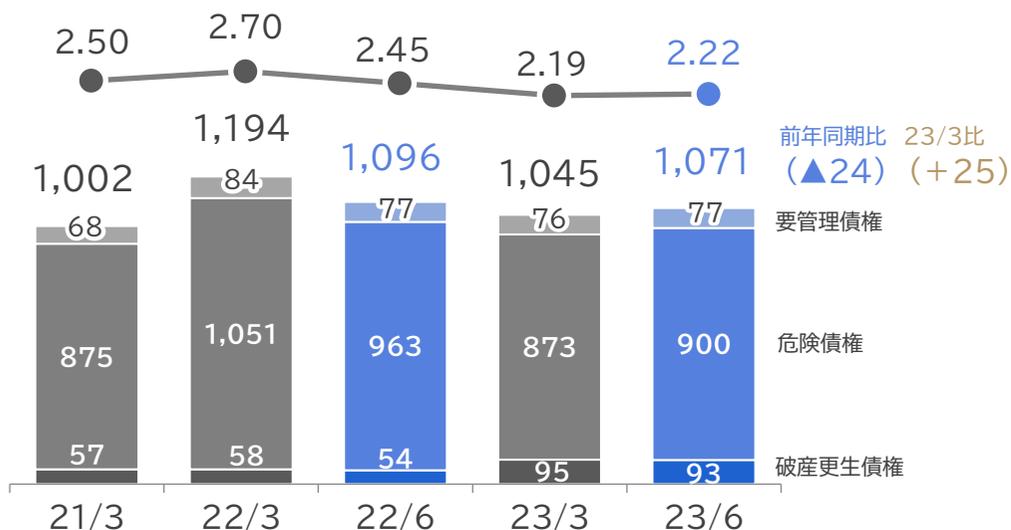
## 4. 金利感応度



# 金融再生法開示債権・自己資本比率

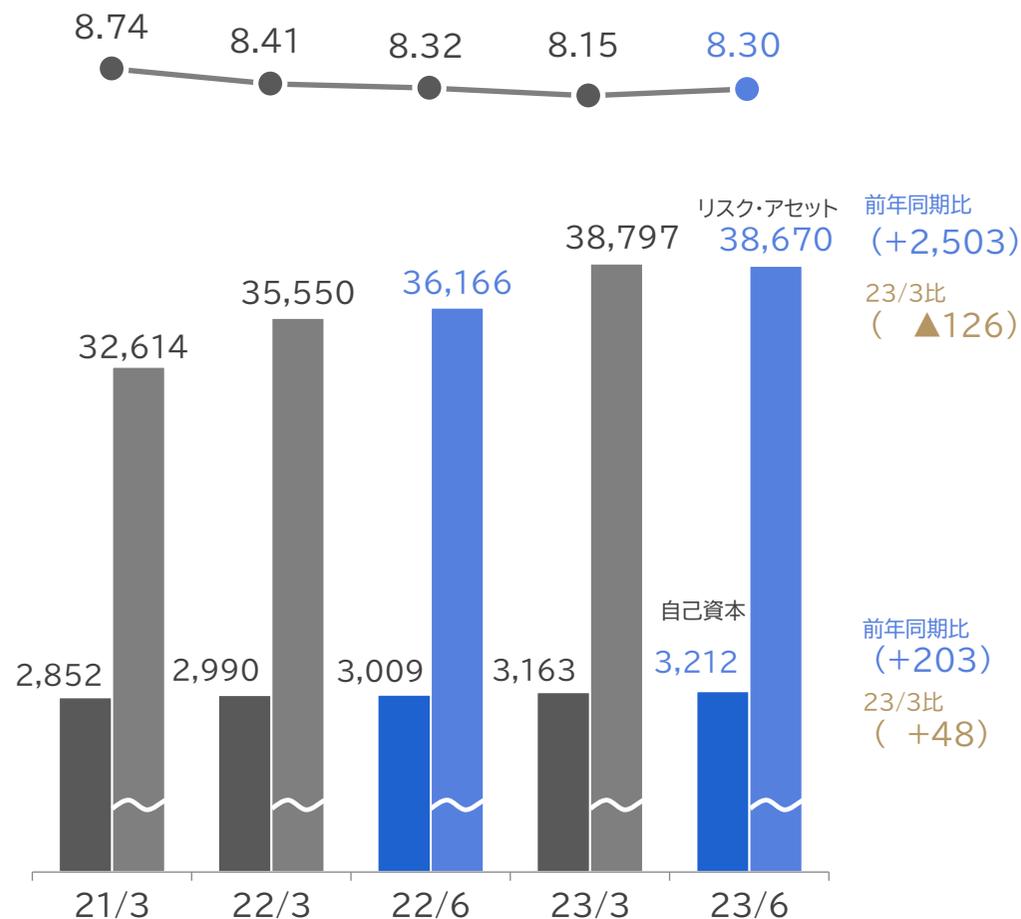
開示債権比率は、一部大口取引先のランクダウン等により23年3月期比で増加  
自己資本は増加した一方、法人向けエクスポージャーを中心にリスク・アセットが増加し自己資本比率は低下

## 1. 開示債権額・比率（きらぼし銀行）（億円、%）



※部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。

## 2. 自己資本比率（東京きらぼしFG連結）（億円、%）



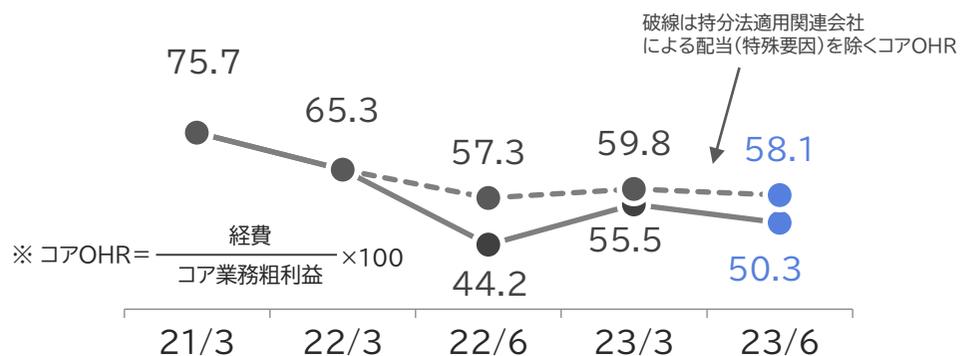
## 3. 与信関係費用（億円）

	22/6	23/6	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	▲1	▲2	▲1
不良債権処理額	7	15	+8
うち個別貸引繰入額	6	13	+7
貸倒引当金戻入益	—	—	—
与信関係費用	5	12	+6

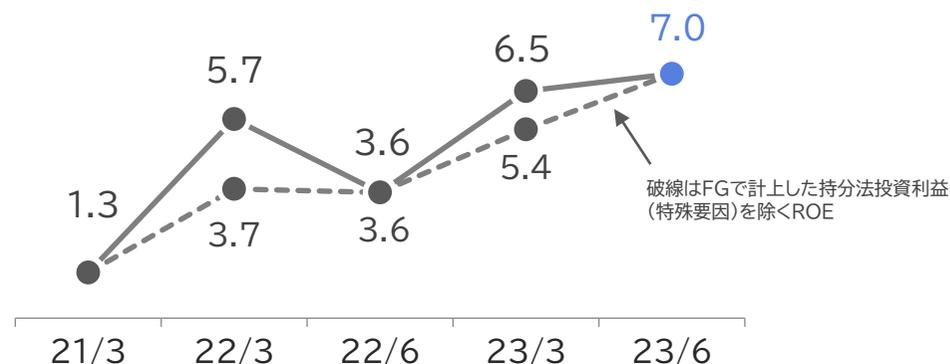
# コアOHR・ROE・配当金

OHRは引き続き改善し、ROEは大幅に上昇、また24/3期年間配当金は3期連続増配を予想

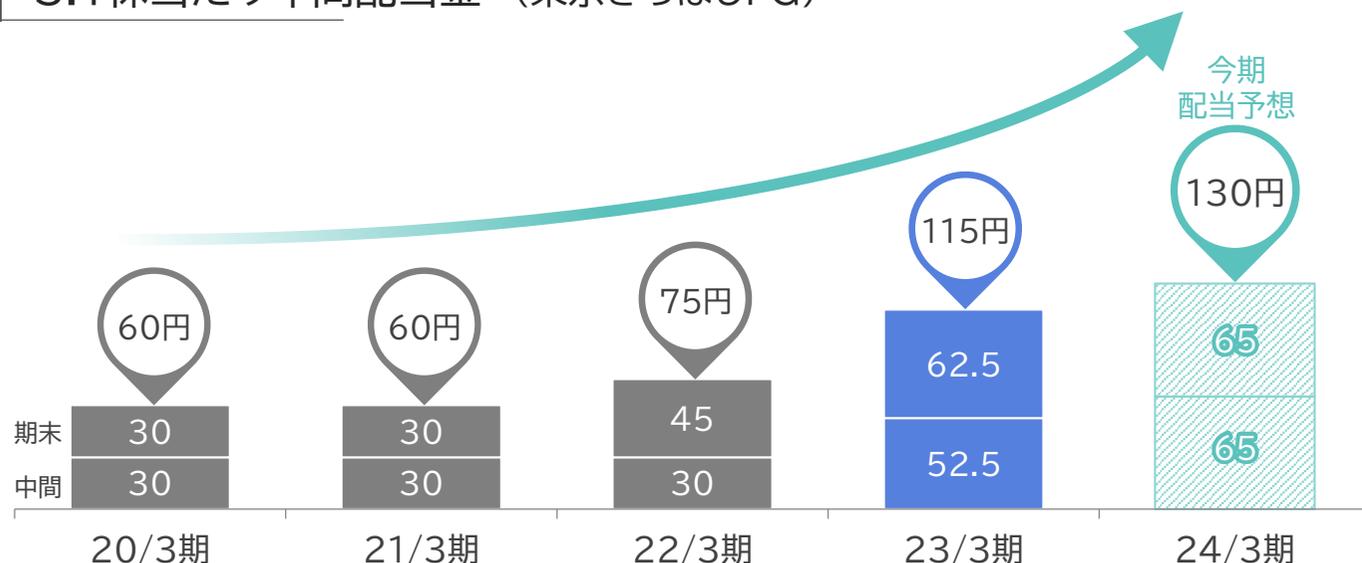
## 1. コアOHR (きらぼし銀行) (%)



## 2. ROE (東京きらぼしFG連結) (%)



## 3. 1株当たり年間配当金 (東京きらぼしFG)



24/3期\_年間配当金は  
3期連続の増配予想

3年で2.1倍の水準へ



きらぼし銀行で取引の薄かった若年層へのアプローチが進捗、関東圏を中心に全国からユーザーを獲得

2023年3月期 実績

## 預金残高 3,919 億円

残高			普通預金/定期預金 内訳		普通預金口座数(顧客数)		
22/6	23/6	前年同期比	23/6		22/6	23/6	前年同期比
1,563億円	3,919億円	+150.7%	普通預金	264億円	3.2万口座	8.4万口座	+159.7%
			定期預金	3,651億円 (149千口座)			

### UI銀行の事業拡大に向けた取組み

- 23/3 ローン取扱開始
- 23/5 東京きらぼしFGと新韓銀行の基本合意書締結  
東京きらぼしFGと三菱商事の業務提携
- 23/6 東京きらぼしFGとSBIホールディングスの業務提携

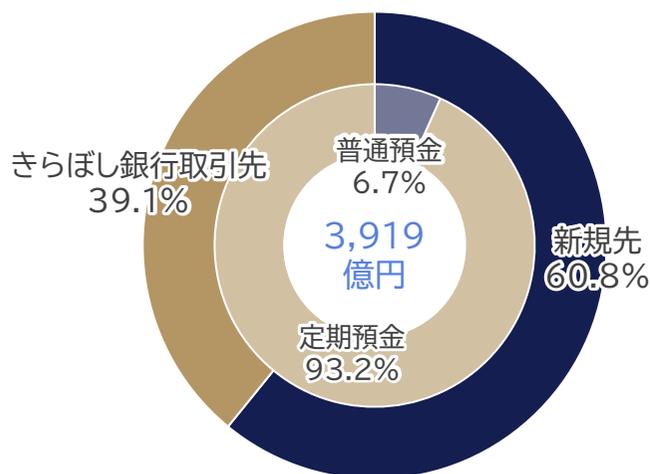
<ニュースリリース>

新韓銀行

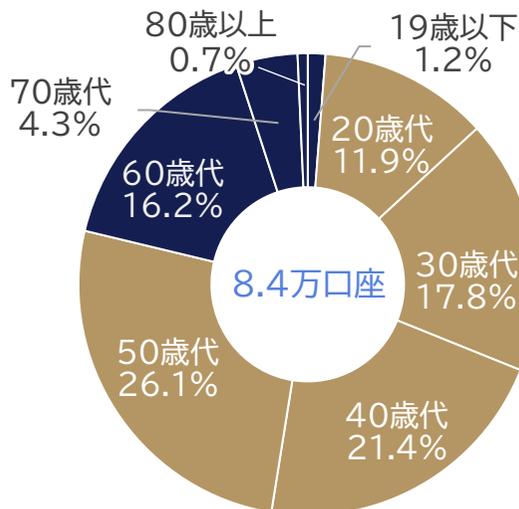
三菱商事

SBIホールディングス

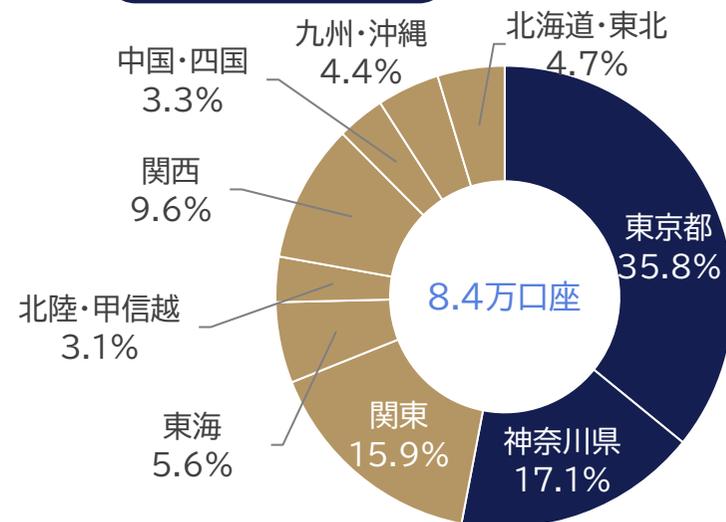
残高内訳



年代別口座数分布



地域別口座数分布



# <参考> 持続的成長と企業価値向上に向けた取組み

【①短期で成果の上がる領域と将来的な成長分野へのバランスの取れた投資、②健全な自己資本比率、③株主への利益還元のバランスの取れた資本運営】と、【ROE向上に向けた財務運営】が重要

## 資本運営の基本方針

### ①収益力強化に向けた資本活用(資本効率の向上)

短期

RORAを意識したメイン化・事業性ファイナンス  
地域金融機関としての金融仲介機能の発揮

長期

将来の大きなリターンに向けた成長投資  
①エクイティ投資・グループ会社への戦略的投資  
②DX投資等を通じた経営効率化

### ②健全な自己資本比率

内部留保

内部留保の蓄積

+

適切な資本配賦と  
リスク・アセットコントロールによる  
資産ポートフォリオの進化

### ③株主への利益還元

株主還元

株主還元の充実

総還元性向20~30%

2020年度 60円 ▶ 2023年度(予想) 130円

## ROE向上に向けた財務運営

### 自己資本比率

健全性確保

分子:自己資本  
分母:リスク・アセット

<資本運営>  
多様な資本政策検討

### RORA

リスク・リターン向上

分子:当期純利益  
分母:リスク・アセット

<リスク・アセットコントロール>  
リスク・アセット対収益拡大  
高採算アセットへの切替  
高収益性ポートフォリオ構築  
<与信費用コントロール>

### ROE

資本効率向上

分子:当期純利益  
分母:自己資本

<トップラインコントロール>  
メイン化の取組み  
<経費コントロール>  
ベース経費削減

<参考>

PBR

=

ROE

×

PER

株式市場との対話や  
開示・コミュニケーション  
の充実による株主資本  
コストの低減

## メイン化取引の推進、事業性ファイナンスへの取組み

※事業性ファイナンスとは…  
LBOローン、不動産ノンリコースローン等ストラクチャードファイナンス

貸出金残高の増加、貸出金利回りの上昇、法人役務収益の拡大

収益力向上によりROE上昇

